

みやしん経済講演会開催

「強気の見通しを復興のパワーに」

平成25年8月21日(水)、宮城第一信用金庫では「みやしん絆クラブ」「宮信オーナーズクラブ」「みやしんファーストレディースクラブ」と共催で、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社参与 景気循環研究所長 嶋中 雄二氏を講師に迎え「内外景気の現状と今後の見通し」と題し「みやしん経済講演会」を開催いたしました。

「みやしん経済講演会」は今回で3回目。今年も仙台市青葉区の江陽グランドホテルを会場に取引先企業のお客様や個人の方々など約400人のお客様にご出席いただきました。



演題
「内外景気の現状と今後の見通し」
講師
「三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社参与 景気循環研究所長 嶋中雄二氏」



嶋中講師は、「ブラック・マンデー」「ITバブル崩壊」「リーマン・ショック」など過去の日経平均急落時と今年5月の株価急落は似た展開で、オリンピック開催の動向などを踏まえ、今後は上昇との見解を示されました。また、米国・欧州・中国など海外の景気動向の現状にも触れ、問題を抱えながらも改善の方向に向かっていると分析しておられます。海外景気の動向を踏まえて、

日本の景気動向を見た場合、2012年度を底に、明瞭な回復軌道に入っている他、長期金利の先高感や消費増税の駆け込み需要もあり住宅、個人消費は伸びる。また円安で外国人観光客も増え、内需も拡大するであろうとの見通しを示され昨年の政権交代以降安倍政権下でのアベノミクス効果(いわゆる「3本の矢」)については一定の評価をされております。



このような経済環境の下で日本経済の中期展望として、13～16年度の平均成長率は名目3.6%、実質2.2%と予測された他、税制改正や東京オリンピックの開催などの要因を背景に、2年後の株価25,000円台の可能性も示唆され、聴講者より驚きと先行きへの期待を感じたとの声も多く聞かれました。聴講者の方々にとって企業経営等に参考となる、大変有意義な講演会であったと好評を得ました。